

瓦屋根編  簡単チェックポイント



■ Check!  1 棟瓦が歪んでいる

屋根の頂上にあたる棟瓦。一番高い箇所にあるため、地震などで歪みやすくなっています。この棟瓦がまっすぐになっているかを確認してみてください。もし歪んでいれば、棟取り直しなどの工事が必要となります。




■ Check!  2 瓦が割れている・欠けている

瓦は耐久性が高いので、多少の衝撃ではびくともしません。しかし強風時の飛来物がぶつくと、さすがの瓦も割れてしまいます。割れた瓦は動きやすく、他の瓦に干渉してしまうことで、割れを誘発することもあります。

台風の後などは、瓦が割れていないかチェックする良い機会です。



■ Check!  3 瓦がずれている・はずれている

瓦はしっかりと固定されていますが、地震などによってずれてしまうことがあります。もし瓦がずれたままになっていると、動いてしまい、他の瓦に干渉してしまいます。

そこから瓦がどんどんと割れていくことになるので、瓦がずれている場合は正常な位置に戻さなくてはなりません。



■ Check!  4 漆喰が剥がれている

棟瓦は漆喰によって固定されています。しかし漆喰も劣化してしまうため、棟瓦の固定が緩くなっていきます。その結果、棟瓦がずれたり、落下したりする危険性が高くなるのです。まずはお庭やベランダに漆喰の欠片が落ちてないか確認してください。



■ Check!  5 銅線が緩んでいる・切れている

瓦は銅線によってもしっかりと固定されています。しかし銅線も緩んでしまうことがあり、固定が緩くなります。銅線に緩みがないかを確認しましょう。



■ Check!  6 防水紙に穴が開いている

瓦屋根の場合、雨水が瓦の裏側に入ってしまう。これは構造上仕方のないことなので、瓦の下の防水紙によって家内への浸水を防いでいます。

つまりこの防水紙に穴が開いていると、雨漏りの原因となるということになります。瓦を持ち上げてみて、防水紙に穴が開いていないかを確認しましょう。

上記の症状が出たら屋根補修の目安となります。

 街の屋根やさんの無料点検をご活用下さい!